

# 宗吉瓦窯跡史跡公園

## 宗吉かわらの里展示館

### オープニング イベント開催

5月10日(日)  
午前9時30分〜午後4時



せんとかん  
平成遷都1300年祭連携

やせんとかんも  
おんよ!



持統天皇を描いた歴史マンガ「天上の虹」の作者  
**里中満智子さん講演会**

演題 『持統天皇と古代の女性』  
講師 里中満智子氏(漫画家)  
時間 午後2時〜4時  
場所 三野町体育センター

参加料  
無料



▲宗吉瓦窯会のガイド養成講座

#### 宗吉瓦窯跡史跡公園

午前9時30分〜

落成式

○テイクカット

○アトラクション(木札投げ)

○せんとかん写真撮影

#### 三野町体育センター

12時30分〜

○地元芸能公演

・いよだに神農太鼓

・詩吟の会

・讃岐源之丞保存会

・吉津夫婦獅子舞(正本組)



▲1袋(10枚入り)250円で限定販売  
三野町生活研究グループ

うどん・パットライスの無料  
接待(数量限定)やポイセン  
ペリー入り三色せんべいの  
販売もあります。

史跡公園では、オープン後、電気窯を使った  
ミニ瓦などの焼き物体験教室を予定しています。  
▼問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113

### 文化の発信地として、 みんなが集える公園にしたい



宗吉瓦窯会  
会長 藤田明美さん

宗吉瓦窯で瓦が作られていたのは、今から約1300年前のことです。作られた瓦は、船で当時の三野津湾から瀬戸内海を通って、大阪経由で奈良の藤原京へ運ばれていました。都の寺院の瓦が、三野町吉津で作られていたということは、それだけ当時最先端の技術力がこの地域にあったということです。

この瓦窯跡からは、瓦以外にも日常生活で使われていたであろう土器なども発掘されました。また、発掘された瓦の中には、丸亀市郡家町(当時、讃岐の役人の家の集まり)のお寺で使われていたものもあり、当時の讃岐の豪族たちの寺院などにも送られていたことがわかります。

ここは全国的にも珍しい文化遺産です。この公園や展示館を、特に小中学生に地元文化財の歴史を学ぶ場所として活用してもらいたいと思います。

また、来年の春にはしだれ桜を植える予定です。県内にはしだれ桜の名所がないので、ここを名所にしてみんなで憩いの場にしてもらいたいと思います。

みんなが集える公園になるよう願っています。

## 宗吉瓦窯会



#### 文化的活動

訪れた人に瓦窯跡の歴史などについて説明や案内をするボランティアガイドをします。会員は「どのようにして瓦が作られたのか」「どういったいきさつで藤原京へ瓦が運ばれたのか」などを当時の歴史的背景をまじえて勉強しました。また、公園整備事業記念講演会にも参加し文化財専門の先生の話などを聞いて専門的な知識も学びました。



#### 周辺管理

オープンにむけて公園周辺の草刈りをしました。公園全体の面積は12,620㎡とたいへん広く、草刈りだけでも50人で半日かかりました。訪れた人が気持ちよく見学できるよう、みんなでがんばっています。また来年には、しだれ桜を植えるなど、景観整備も予定しています。

▲31ページに関連記事掲載▼



瓦の取り出し



瓦づくり

当時の瓦づくりを再現したミニチュアを展示



宗吉かわらの里展示館

